



34. 家蚕の卵を保存・催青(さいせい)させる技術

蚕飼育研究会 田中 尚子

動画リンク <http://www.pesj-bkk.jp/OSF/om.php?v=AmWoLAIiky>

1. 子どもたちへのメッセージ

【蚕ガの幼虫】は、サナギになる前に、口から糸を出して自分の体のまわりに繭(まゆ)を作ります。長い年月、人類は、この糸(絹糸)を織って布にしてきました。



2. 蚕ガの幼虫を観察しよう

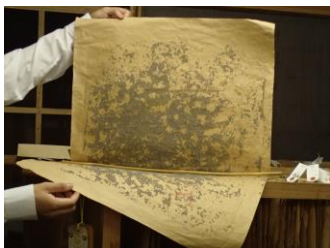
今年も【蚕ガの幼虫】を観察します。観察のポイントは、【桑の葉を食べるようす】【体のもよう】【うんちをするときのようす】などです。ブースに展示する幼虫は、丈夫な品種を用意してあるので、てのひらに乗せて観察することができます。



その他にも、【幼虫が卵から生まれるところ】と【繭の中のサナギ】を観察できます。タイミングが合えば、【糸を吐く幼虫】や【羽化した成虫】を観察することもできます。

3. 家蚕の卵を保存し、家蚕の卵を催青(さいせい・目覚めさせること)させる技術

昨年度の夏、私は、蚕の故郷、長野県上田市で、蚕種の会社を見学してきました。



【紙に産み付けた卵】

【洗った卵を乾燥させる】

ここでは、大きな紙に産み付けた家蚕の卵を秋の気温に下げた部屋に入れて休眠させます。その後、水洗いして乾燥させ、孵化率のよい卵を選んで冷蔵庫で6℃～9℃で保管します。次の年の春、農家や研究所から連絡が来ると、決まった日に孵化するように完璧な日照時間と温度管理をして催青させます。このような技術の伝承が、家蚕の伝統をつないでいるのです。



4. 桑の木が切られないように

私たちが2019年に挿し木した桑の木は無事に育ち、蚕を育てる学校で役立っています。子どもたちが蚕を飼って観察できるように、蚕の餌になる桑の木が切られないように協力してください。

5. 問い合わせ先

元、大阪市立小学校教諭 田中 尚子(ひさこ) hisako@oct.zaq.ne.jp 090-8575-3156

6. 参考になる資料

科学のアルバム「カイコまゆからまゆまで」 岸田 功 あかね書房
パソコン検索【カイコってすごい虫】国立研究開発法人生物資源研究所・・・歴史的な背景から最新研究まで詳しく書かれています。